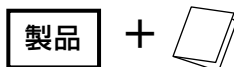
（PT5 2015年1月現在 No.4）

タコメーター　PROGAUGE-PT5

取扱説明書

PROGAUGE
STEPPING DRIVE
TACHO METER ø52

この度は PIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。
なお、本書は大切に保管してください。

●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

製品 ＋

目 次

内容物をご確認ください

メーター本体

バンドホルダー

OBDコネクター付
5P電源コード（ヒューズ3A）

延長用白コード

両面テープ

ヘキサコレンチ

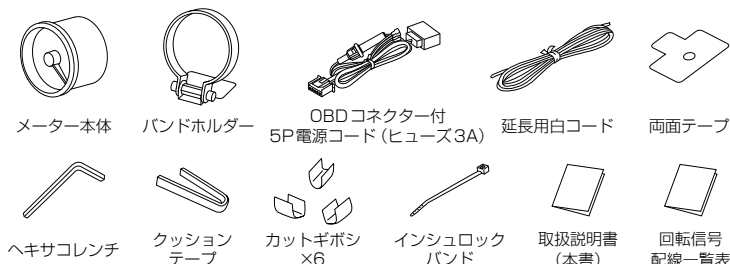
クッション
テープ

カットギボシ
×6

インシュロック
バンド

取扱説明書
（本書）

回転信号
配線一覧表

⚠警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

●**換気の悪い場所で作業しない**
排気ガス中毒や引火などで人体への危険があります。

●**コードの被ふくを傷付けない**
シートレール、ドアなどでコードの被ふくが傷付くと、ショート、接触不良などによる火災の危険があります。

●**バッテリーの⊖側を外して作業する**
ショートなどによる火災、破損事故の恐れがあります。

●**運転中に操作をしない**
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。

●**製品固定や配線処理は確実に行う**
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

●**エレクトロタップは使用しない**
配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線などが突き出ていないかをお確かめください。

●**DC12V車で使用する**
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。

●**加工・分解および改造をしない**

●**装着直後は製品に強い力を加えない**
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。

●**薬品類は使用しない**
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。

●**高温となる場所や水のかかる場所には装着しない** 故障の原因となります。

●**配線に不安がある場合は専門ショップへ依頼する**
製品装着には専門知識を必要とします。不安な方は専門ショップなどにご依頼ください。

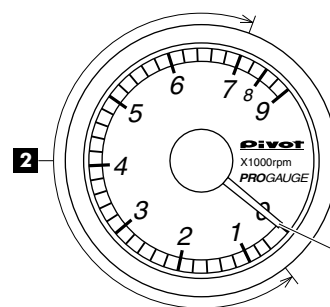
●**まぶしく感じる場所に装着しない**

●**ネジ・部品は元の状態に戻す**

特長

PT5は、トヨタ、ダイハツ、MINI（BMW）の一部は故障診断コネクターへカプラーオンで、その他の車種は直接配線を行うことで取付が可能な、小型タコメーターです。

特長	説明
配線不要 カプラーオン取付	一部車種は、故障診断コネクターに差し込むだけの簡単配線。
1、3、4気筒 幅広い対応	4サイクル 1、3、4気筒車に対応可能。
1Body 別コントローラー不要	メーターは一体構造で両面テープで簡単に取り付け。（別装着品は不要。）
穴開け不要	ダッシュボードなどには、両面テープで固定可能。
見やすいLED透過照明	ムラのないLEDによる透過照明。

各部の名称とはたらき

1 針
エンジン回転を表示します。

2 ワイドスケール表示
500〜7000rpmの必要域を拡大して見やすくしてあります。

3 イルミ（夜間照明）
表示中イルミは常時点灯。（スモール連動はしません）

オープニングデモ

オープニングデモのとき、針はマイナス方向に小刻みに複数回動きます。その後最大値を指し、回転表示に移行します。

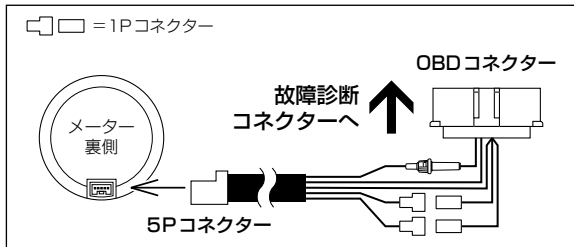
配線接続方法

作業を始める前に、取り付ける車種に対応した取付方法をご確認ください。

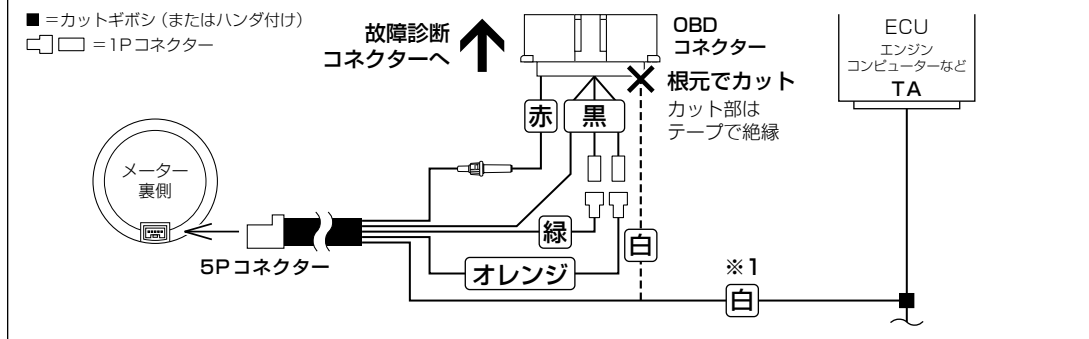
基本配線

⚠ 基本配線後、車の気筒数に応じて「気筒数設定接続」(⇒3 ページ)を行ってください。

■トヨタ・ダイハツ・MINI(BMW)の場合

付属の「回転信号配線一覧表」で「カプラーオン取付覧」が●印の車種

配線コード説明

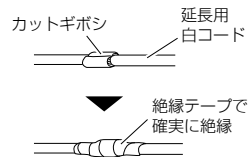
コード色	接続場所	詳 細
赤	IGN	キー ONで12Vがでる場所(常時電源も可)
黒	GND	アースが確実に取れるネジなど
白	TA	エンジン回転信号
オレンジ・緑		気筒設定用接続コード

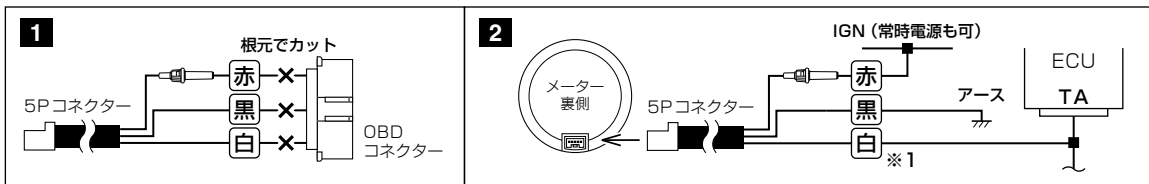
■一般車(トヨタ・ダイハツ・MINI(BMW)以外)の場合

▶故障診断コネクターがない、または使わずに接続する ⇒ 配線方法 1 を参照

ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

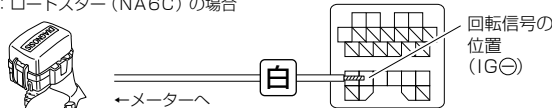
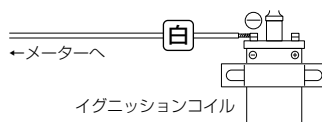
・両方接続しても正常に動作する
　▶そのまま使用可能。

・動作しない、または不安定な動作をする
　▶ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。
　⇒ 配線方法 2 を参照

※1 白コードの長さが足りない場合は、付属の延長用白コードで延長してご使用ください。
⇒3 ページ【参考 1】
カットギボシの使い方

配線方法 1 故障診断コネクターがない、または使わない場合

故障診断コネクターを使用せず配線を直接行う場合は、OBDコネクターの根元で各コードをカットして配線してください。

配線方法 2 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

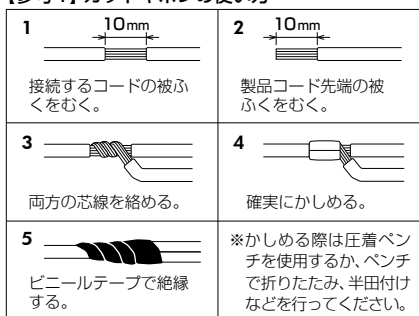
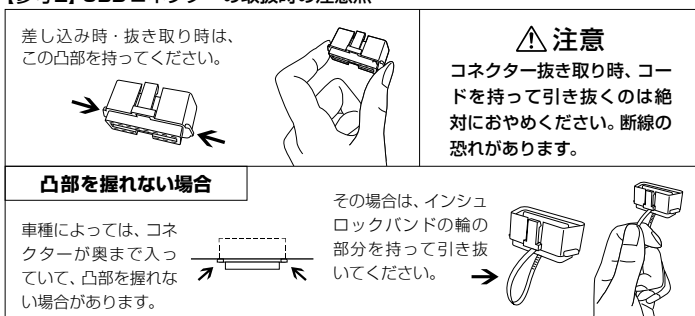
■ダイアグノシス (チェックコネクター) からとる場合

例：ロードスター (NA6C) の場合

■イグニッションコイルからとる場合

OBD製品の併用について

PT5を3-driveシリーズ（FLAT、COMPACT）やOBD装着製品（X2シリーズ、PMC、WTMなど）と併用する場合は、別売のOBD2配線キット（OBD-EH ¥3,200・税別）を使用すると簡単に取り付けられます。

製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。 *http://pivotjp.com/obd/*

※PT5と上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

【参考1】カットギボシの使い方

【参考2】OBDコネクターの取扱時の注意点

気筒数設定接続

準 備 気筒数と信号レベルは、付属の「回転信号一覧表」をご確認ください。

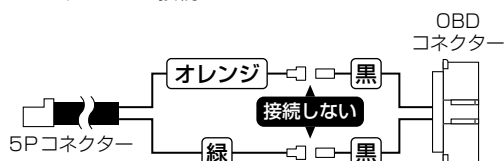
クルマごとの気筒数に応じて次のとおりに接続し、OBDコネクターを車両の故障診断コネクターに差し込みます。
気筒数設定で使用するのは、OBDコネクターからの 黒 コード2本（ボディーアース）と、メーター本体からの オレンジ ・ 緑 コードの計4本のコードです。

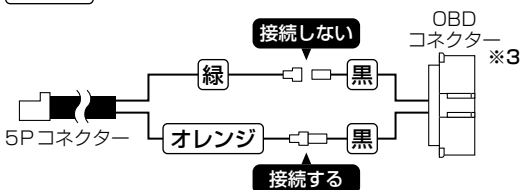
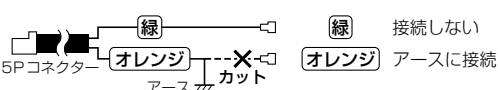
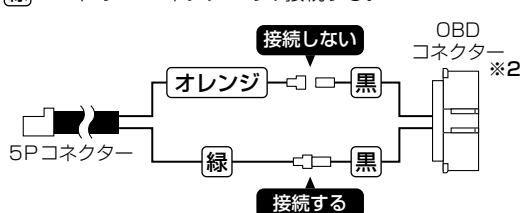
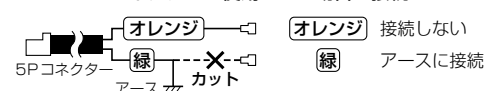
気筒数設定後は、必ずOBDコネクターまたは5Pコネクターを一度抜き、再度差し直してください。この作業をしないと、設定が変更されません。

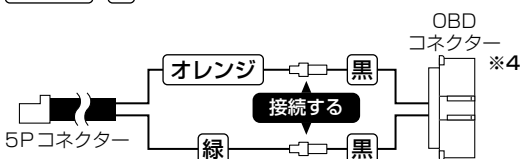
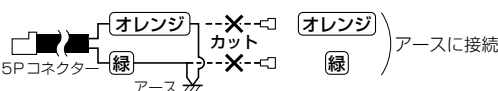
4気筒

1Pコネクターを接続しない。

3気筒

緑 コードの1Pコネクターのみ接続する。

1気筒：信号レベル2

オレンジ コードの1Pコネクターのみ接続する。

1気筒：信号レベル1

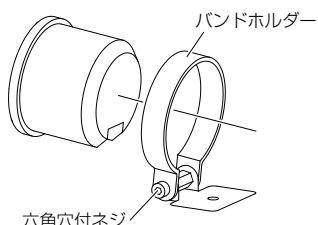
オレンジ・緑 コードの1Pコネクターを両方とも接続する。

＝1Pコネクター

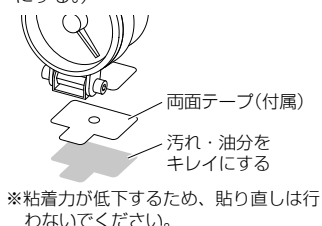
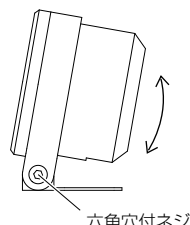
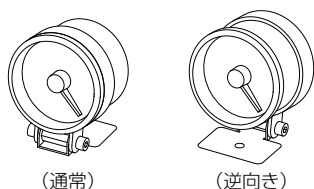
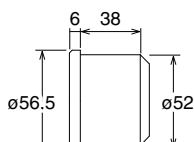
製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

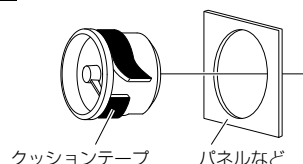
A.バンドホルダーを使用する

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。（コラムカバー上、ダッシュ上など）

1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。

2 両面テープで固定する。
（貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。）

※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

3 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

※ホルダーは、逆向きでも使用できます。

メーター寸法（mm）

B.パネルなどに埋め込む

1 メーターの根元にクッションテープを巻く。

2 直径52mmの穴に圧入状態で差し込む。

基本動作

エンジン始動から停止後までのメーターの基本的な動きです。

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 オープニングデモ

回転信号配線が行われていないと、動作しません。

3 現在の回転表示

4 キースイッチOFF
（エンジン停止）

5 メーター OFF

※特性上、針はOFF時の回転で止まり、0には戻りません。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	対　策
タコメーターが動作しない。 （オープニングデモを行わない。）	エンジンが始動していない。	エンジンを始動してください。
	5Pコネクターまたは OBD コネクターの接続不良。	各コネクターの接続状態をご確認ください。
	赤、黒、白コードの接続不良または接触不良。 （回転信号配線が行われていないと動作しません）	各コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。
	気筒数設定接続が間違っている。	3ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
タコメーターの回転数が純正タコメーターと大きく違う。	気筒設定の誤り。	3ページ「気筒数設定接続」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。
エンジン停止中にメーターが動作する。	クルマ側のノイズ（ドアロックなど）で一時的に動作してしまう。	一時的な動きであれば支障はありませんが、気になる場合は OBD コネクターの赤コードをカットし IGN(キー ON で 12V)に接続してください。
キー OFF 時、針が 0 で止まらない。	ムーブメント上の特性で故障ではありません。	
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、各説明書に従って再設定してください。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/